

2018.3期 決算説明会資料

株式会社エスエルディー
(3223)



2018.3期 ハイライト

売上高 5,076百万円
(前期比 ▲7.8%)

営業損失 114百万円
(前期差異 ▲56百万円)

当期純損失 531百万円
(前期差異 ▲360百万円)

2018.3期 ハイライト

サービス別内訳	・ 飲食サービス売上高	4,777百万円(前期比 ▲9.4%)
	・ コンテンツ企画サービス売上高	298百万円(前期比 +29.8%)

BPR効果	・ 販管費	598百万円	前期差異 ▲41百万円 (販管比率+0.2%)
	本部人件費	331百万円	前期差異 ▲30百万円
	その他本社関連費用	77百万円	前期差異 ▲5百万円

特別損失	・ 減損損失	307百万円	(戦略的退店店舗に係る減損69百万円を含む)
	・ 店舗閉鎖損失引当金繰入額	29百万円	

- トピックス
- ・ 代表取締役社長の交代及び新体制発足
 - ・ 株式会社DDホールディングスとの資本業務提携

業績

2018.3期 業績概要

(単位:百万円)

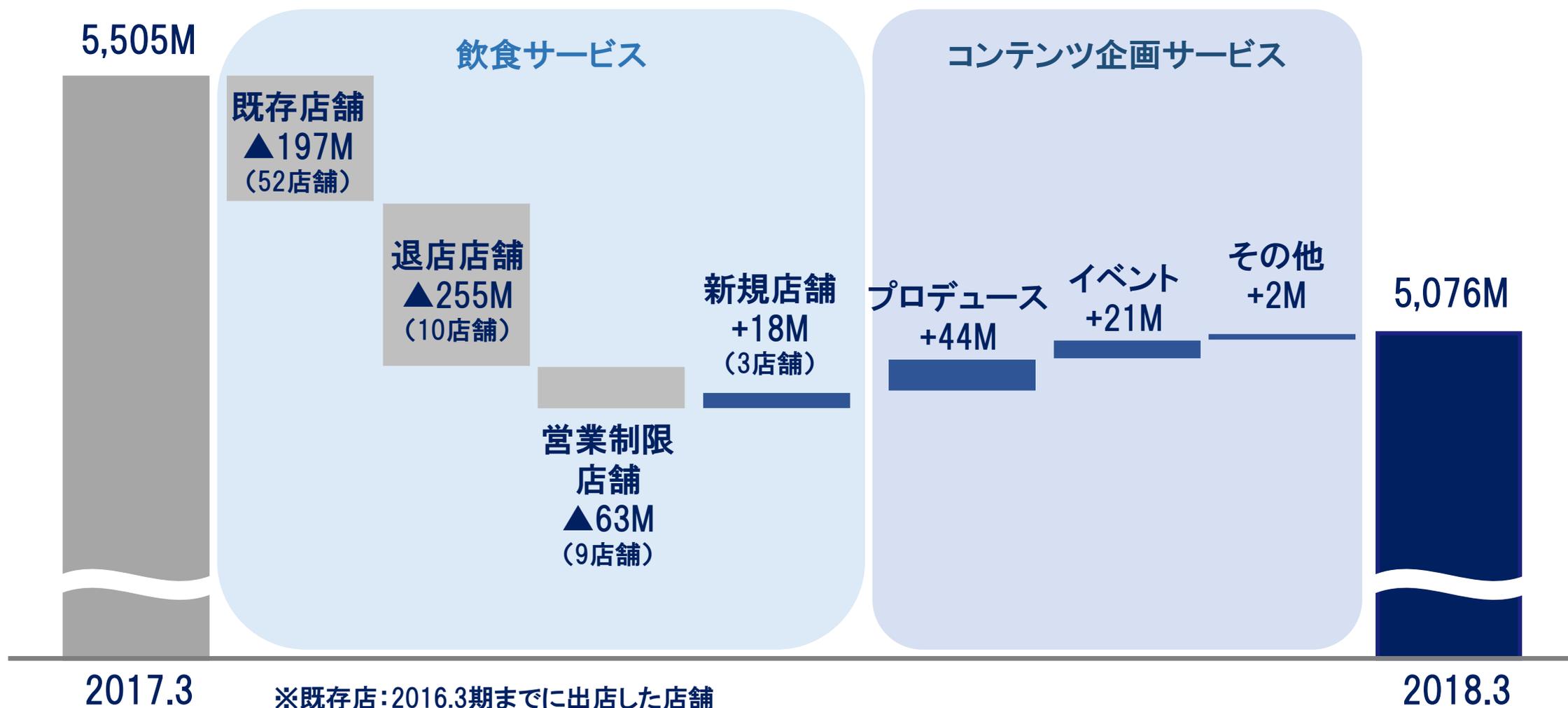
項目	2017.3期	2018.3期	前期比	修正後予算 (2017.11.14発表)	予算差異
売上高	5,505	5,076	▲7.8%	5,169	▲93
売上原価	4,924	4,592	▲6.7%	—	—
売上総利益	581	483	▲16.8%	—	—
売上高総利益率	10.6%	9.5%	▲1.0%	—	—
販売費及び一般管理費	639	598	▲6.4%	—	—
販管费率	11.6%	11.8%	+0.2%	—	—
営業損失	▲58	▲114	—	▲6	▲108
経常損失	▲41	▲118	—	▲6	▲112
当期純損失	▲171	▲531	—	▲281	▲250

2018.3期 サービス別業績概要

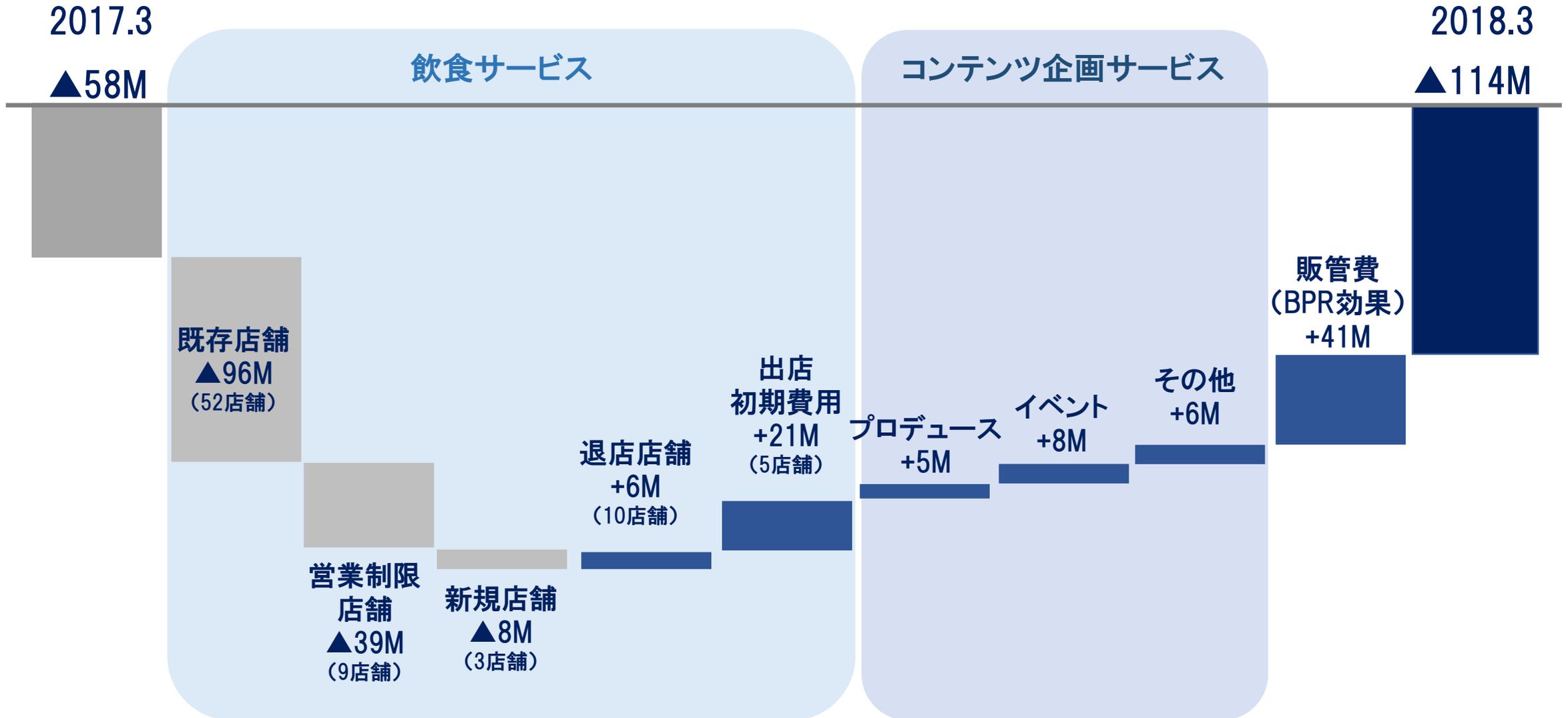
(単位:百万円)

項目	売上高			売上総利益 (率)		
	2017.3期	2018.3期	前期比	2017.3期	2018.3期	前期差異
飲食サービス	5,275	4,777	▲9.4%	551 (10.5%)	433 (9.1%)	▲117 (▲1.4%)
コンテンツ企画 サービス	230	298	+29.8%	30 (13.1%)	50 (16.8%)	+19 (+3.7%)

売上高の増減分析(対前期比)



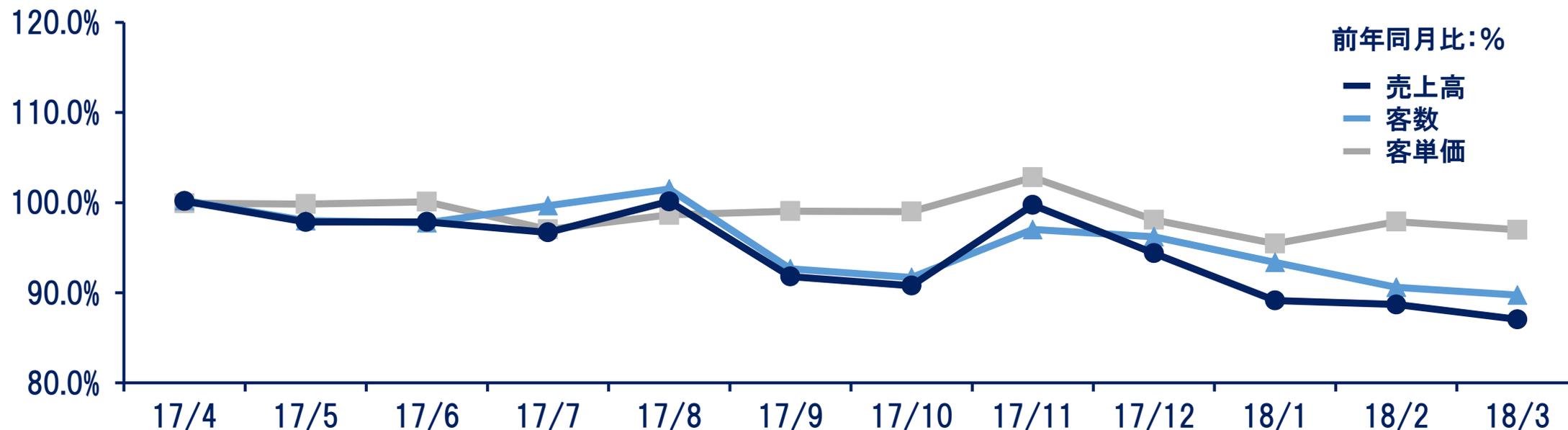
営業利益の増減分析(対前期比)



※既存店:2016.3期までに出店した店舗

既存店 前期比推移

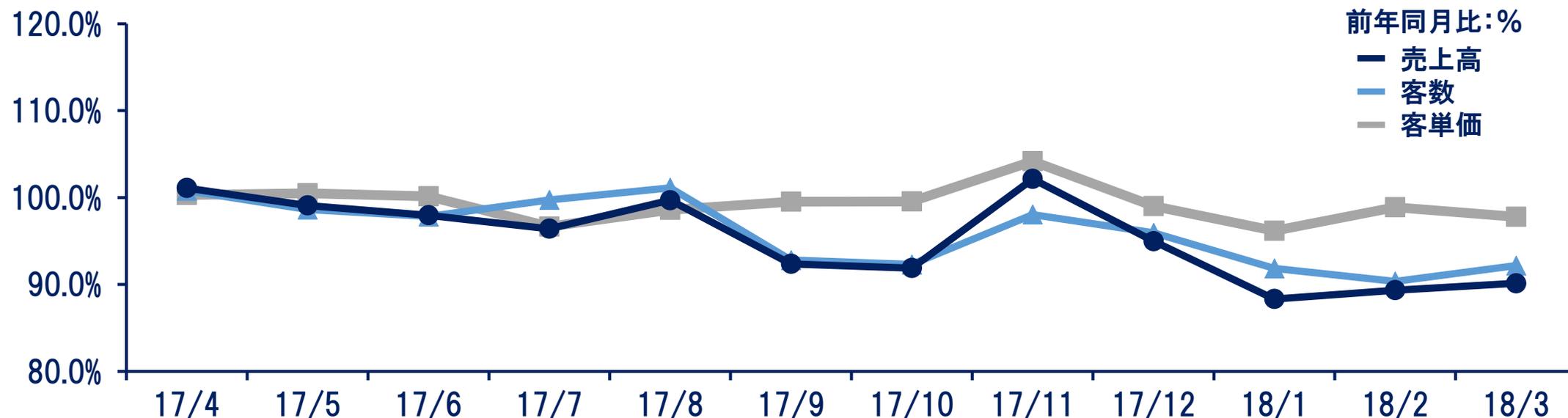
※既存店:2016.3期までに出店した店舗



2018年3月期													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期
売上高	100.2	97.9	97.9	96.7	100.1	91.8	90.8	99.7	94.4	89.1	88.7	87.0	94.5
客数	100.2	98.0	97.8	99.7	101.5	92.7	91.7	97.0	96.2	93.4	90.6	89.8	95.7
客単価	99.9	99.8	100.1	97.0	98.6	99.1	99.0	102.8	98.1	95.5	97.9	97.0	98.7

既存店 前期比推移(営業制限店舗除く)

※既存店:2016.3期までに出店した店舗



2018年3月期													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期
売上高	101.1	99.1	98.0	96.4	99.7	92.4	91.9	102.1	95.0	88.3	89.3	90.1	95.3
客数	100.8	98.6	97.8	99.7	101.1	92.8	92.3	98.0	95.9	91.8	90.3	92.2	96.0
客単価	100.3	100.5	100.1	96.7	98.6	99.5	99.6	104.2	99.0	96.2	98.9	97.8	99.3

出退店状況



出店数 1店舗

・海沿いのキコリ食堂

退店数 3店舗

・Cafe&Dining ballo ballo 仙台店

・HANARE 銀座店

・Hangout Hangover 大名店

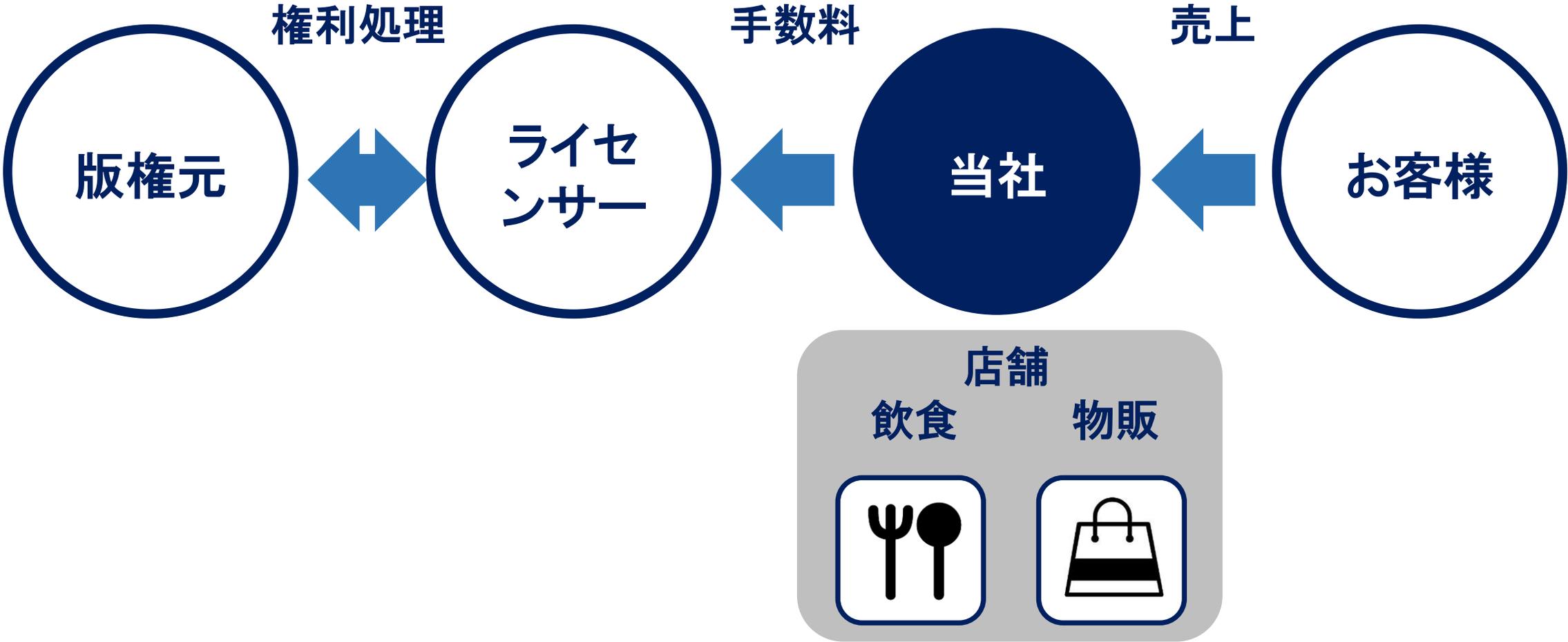


2017年3月末 66店舗

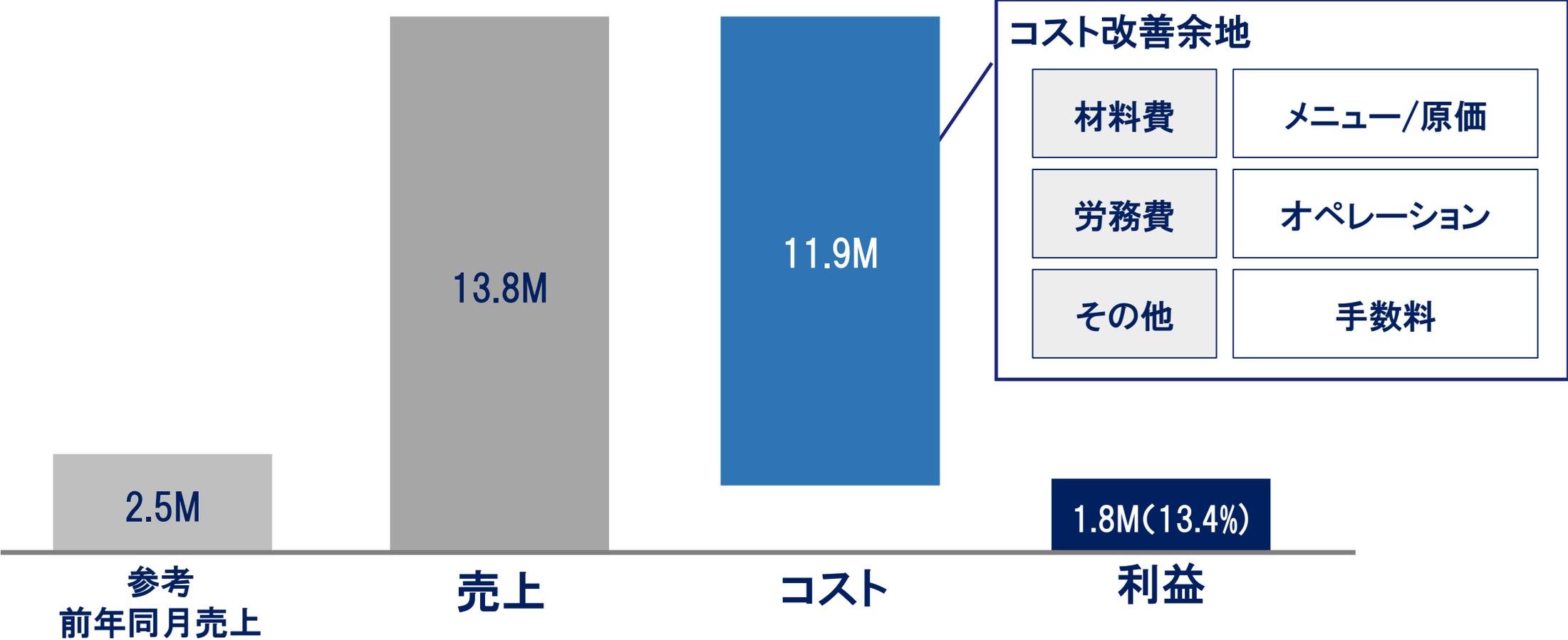
純減2店舗

2018年3月末 64店舗

コラボカフェ



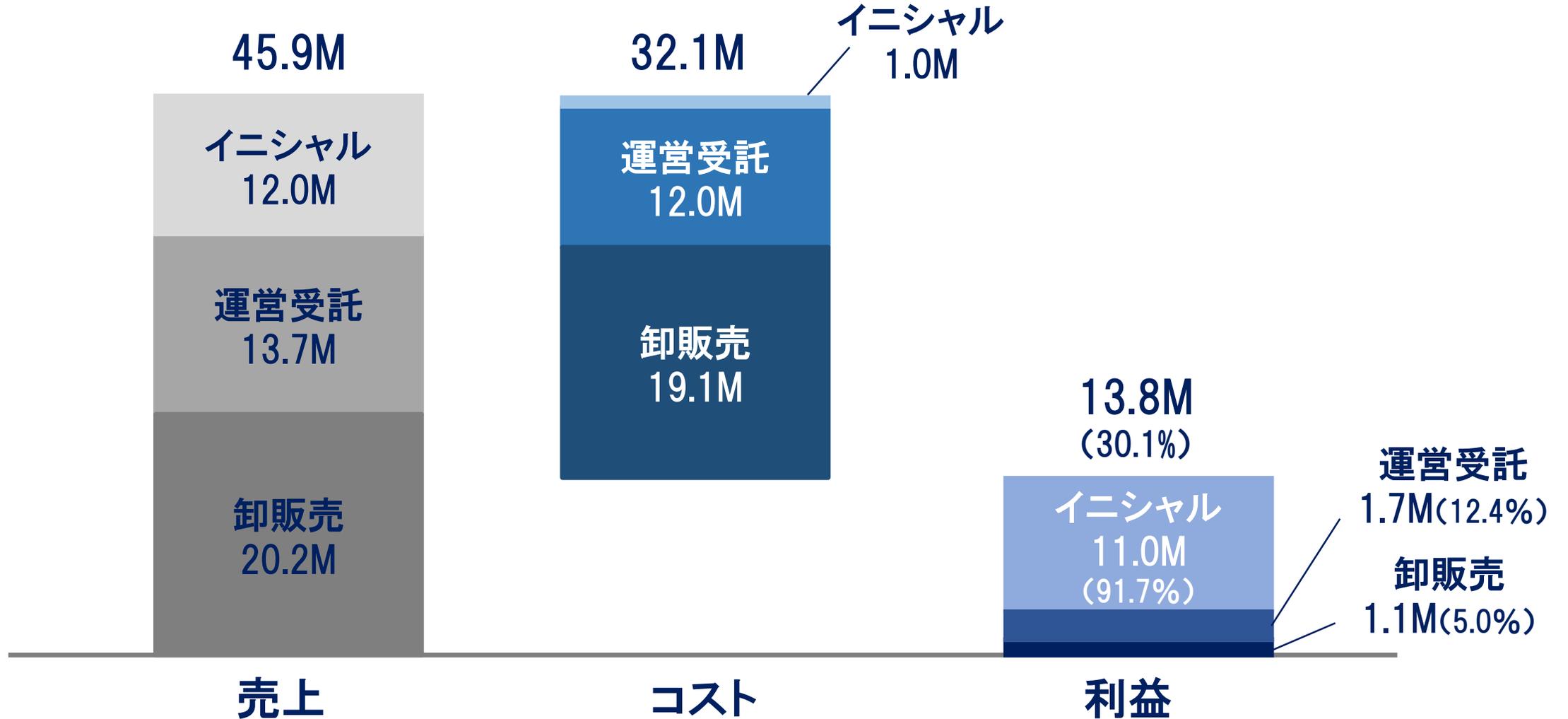
コラボカフェ 収支事例 月次



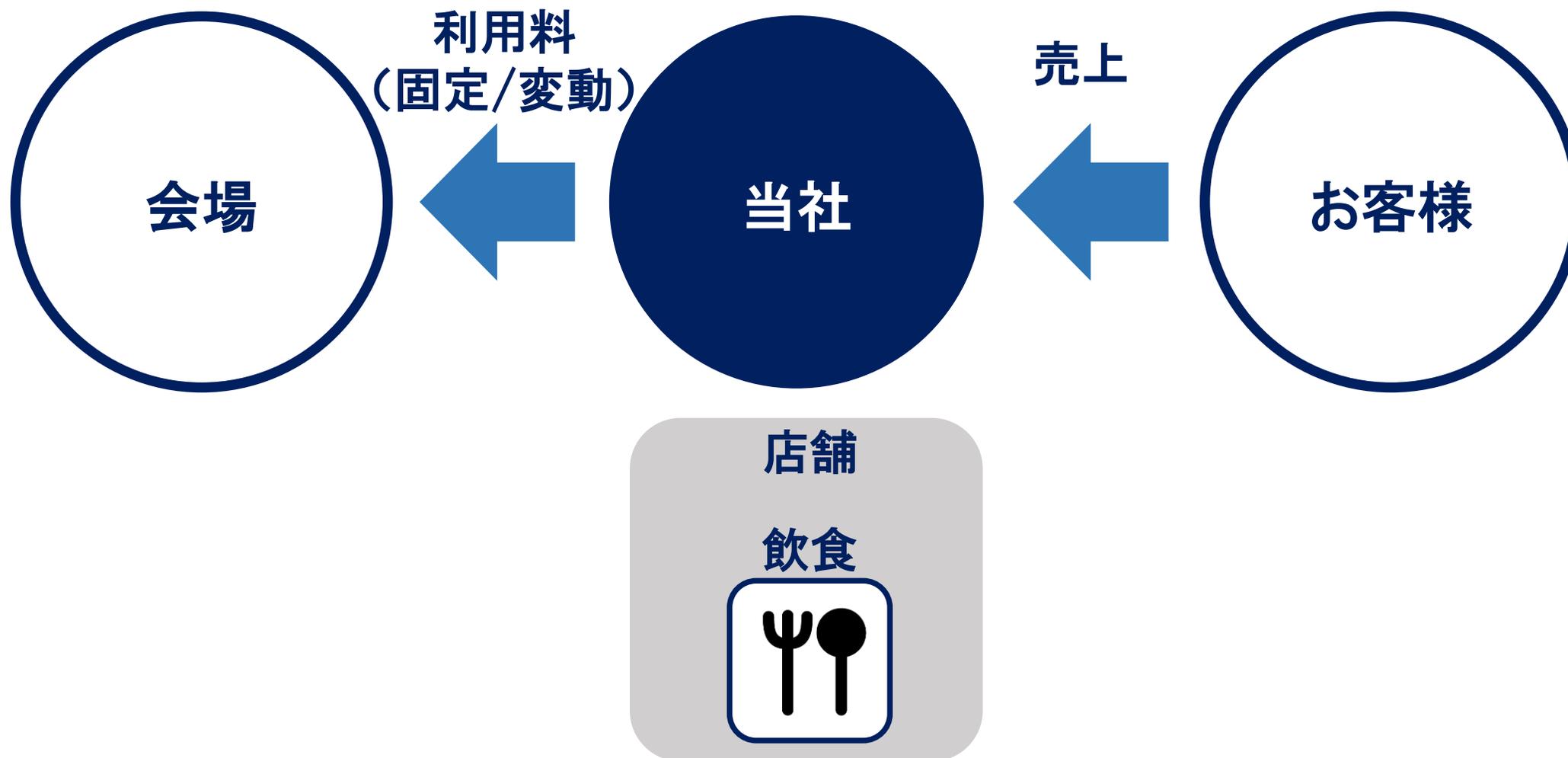
プロデュース



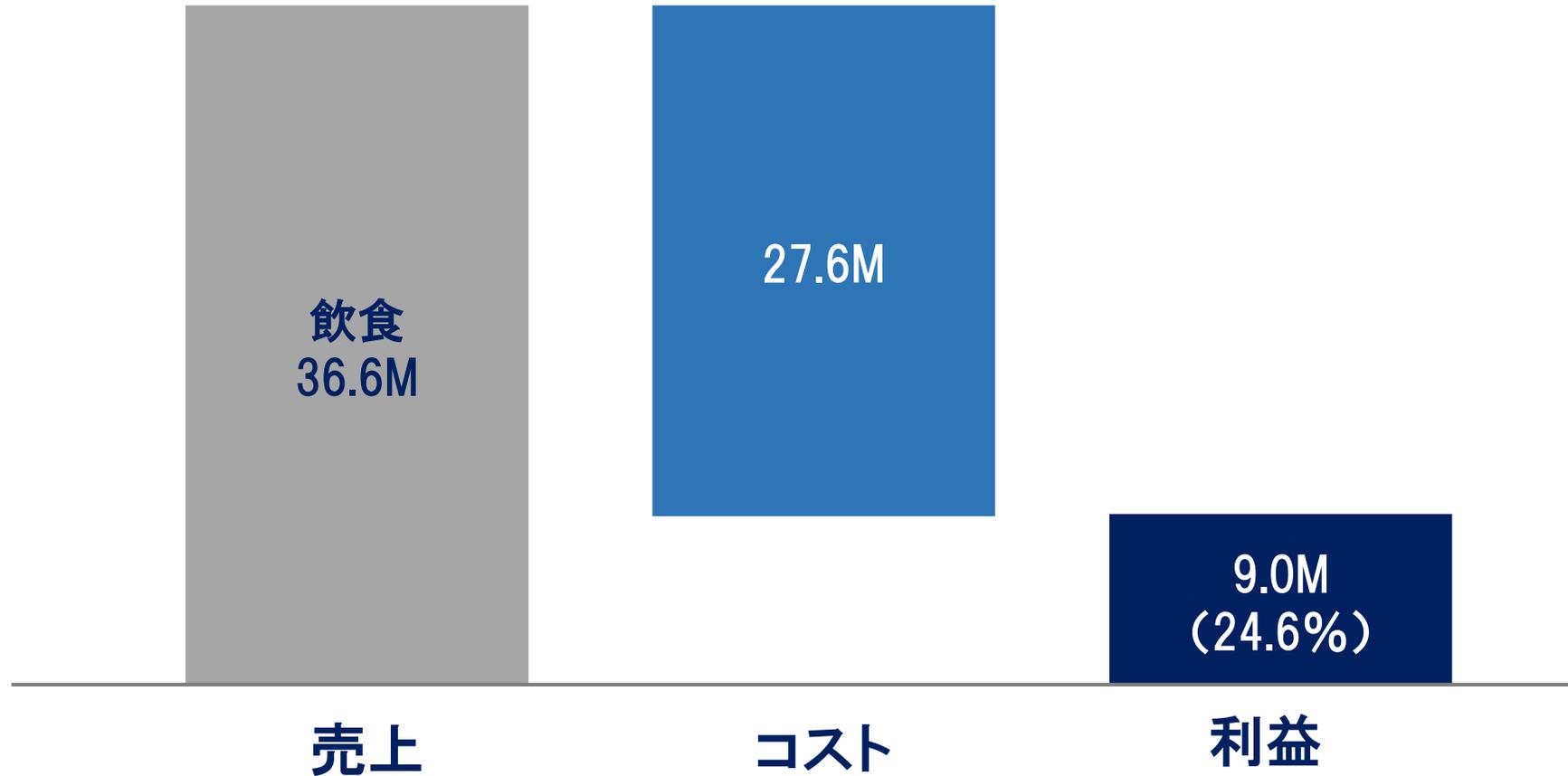
プロデュース 収支事例 月次



イベント



イベント 収支事例 月次



販管費内訳(BPR効果)

(単位:百万円)

項目	2017.3期	2018.3期	前期差異
販管費	639	598	▲41
販管費率	11.6%	11.8%	+0.2%
本社人件費	361	331	▲30
その他本社関連費用	82	77	▲5

特別損失内訳

(単位:百万円)

項目	2017.3期	2018.3期
減損損失	104	307 うち、戦略的退店店舗分 69
店舗閉鎖損失引当金繰入額	7	29
特別損失	112	336

財政状態概要

(単位:百万円)

項目	2017.3期	2018.3期
流動資産	777	713
うち現預金	406	289
固定資産	1,288	834
有形固定資産	695	357
無形固定資産	1	1
投資その他の資産	591	476
資産合計	2,066	1,548

項目	2017.3期	2018.3期
流動負債	740	818
固定負債	586	529
純資産	739	200
株主資本	737	199
新株予約権	1	1
負債・純資産合計	2,066	1,548

有利子負債及び自己資本の状況

(単位:百万円)

項目	2017.3期	2018.3期
有利子負債残高 ※1	688	620
有利子負債依存度 ※2	33.3%	40.1%
自己資本比率	35.7%	12.9%

※1:有利子負債残高:短期及び長期借入金、社債の合計額

※2:有利子負債依存度:総資産に占める有利子負債の比率

キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

項目	2017.3期	2018.3期	前期比	増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	52	▲81	▲133	税引前当期純損失計上 減損損失計上
投資活動による キャッシュ・フロー	▲166	▲54	112	固定資産の取得
財務活動による キャッシュ・フロー	▲15	17	33	DDHDからの借入
現金及び現金同等物 の期末残高	406	289	▲117	

2019.2期 業績予想

2019.2期 業績予想

(単位:百万円)

項目	2019.2期 ※	2018.3期(実績)
売上高	4,302	5,076
営業利益	17	▲114
営業利益率	0.4%	—
経常利益	6	▲118
当期純利益	0	▲531

※ 決算期を2月末日へ変更することによる11か月の変則決算

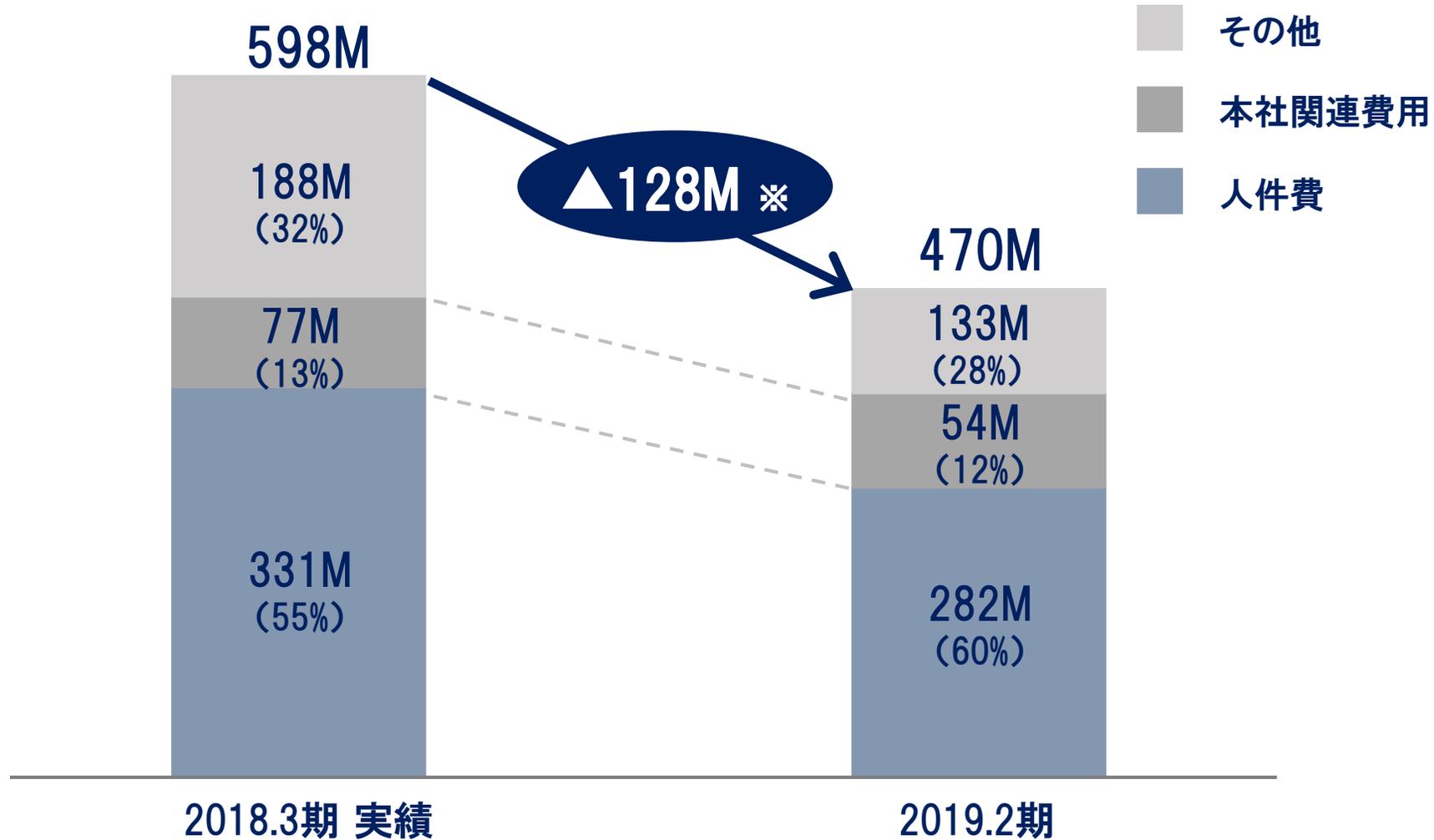
2019.2期 サービス別売上予想

(単位:百万円)

項目	2019.2期 ※	2018.3期 実績
飲食サービス	3,961	4,777
コンテンツ企画 サービス	340	298

※ 決算期を2月末日へ変更することによる11か月の変則決算

BPR(販管費予想)



※ 決算期を2月末日へ変更することによる影響を含む

飲食サービスの立て直し

戦略的退店

メニュー/
業態見直し

店舗QSCA
向上

店舗集客力
強化

営業推進体制の強化

プロデュース

ポケモンカフェの通年稼働

良質な新規案件の積極的獲得

ノウハウ蓄積による収益性の向上

株主還元策

株主優待

■基準日:2018年3月末

■内容: 年1回の実施とし、当社株式100株(1单元)以上保有の株主を対象に保有株式数に応じて、下記のとりの「お食事券」を贈呈。

当該食事券は、当社の直営飲食店舗においてのみ利用可能とし、Craft Liquor Stand、ライブハウス、運営受託店舗、臨時店舗、期間限定催事(コラボカフェ等)は除く。利用は、記載有効期限日までとする。

保有株式数	発行枚数
100株以上 300株未満	2,000円分(2,000円 × 1枚)
300株以上 500株未満	10,000円分(2,000円 × 5枚)
500株以上	20,000円分(2,000円 × 10枚)

配当

当社は、株主への利益配分については、重要な経営課題の一つと位置づけ、各期の経営成績、企業体質の強化と将来の事業展開に向けた内部留保の充実等を総合的に勘案しつつ、配当を実施していくことに努めることを基本方針としております。

当期は、大幅な赤字決算であったことから、期末配当を無配とさせていただきました。早期の復配を目指し、全社員一同、業績の改善に一層努める所存です。

本資料は、株式会社エスエルディー(以下、当社)の事業及び業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しております。

本資料に記載された内容は、2018年5月30日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本資料において提供される情報は、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的に当該情報とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

本資料における将来の展望に関する表明は、今後の将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新・変更するものではなく、また、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料の更新・変更をおこなう義務を負うものではありません。

本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解頂くことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。